

【日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞

「駅リノベーション」特別賞】

◎九州旅客鉄道株式会社

「門司港駅復原「未来に引き継がれる生きた文化財」」

（選考理由）

門司港駅は、九州の玄関口にあたる門司駅として1914年（大正3年）に作られました。1942年（昭和17年）に関門鉄道トンネルの開通にともない大里駅に門司駅の名称を譲り現在の駅名となっています。石貼り風の壁を持つ洋風木造モルタル建築の駅舎内部には貴賓室を有し、その気品のあるたたずまいは、駅乗降客はもとより地域の人々を魅了してきました。1988年（昭和63年）には、鉄道駅として初めて国の重要文化財の指定を受けています。

しかし老朽化が進み大規模な修理と補強工事が必要となり、駅営業を行いつつ2012年（平成24年）より7年の歳月をかけて創建当時の姿に復原を行いました。我国近代の駅舎建築としての貴重な文化財を未来に引き継ぐことができる本事業を高く評価し、ここに「駅リノベーション」特別賞を授与します。



復原工事完了後全景



ライトアップ式典



旧貴賓室



コンコース



旧一・二等待合室（みどりの窓口）



みかど食堂（レストラン）



旧三等待合室（カフェ）